SONY

2-683-363-**05** (1)

取扱説明書

D-VE7000S

DVD Walkman

Portable DVD/CD Player

DVD VIDEO

COMPACT disc DIGITAL VIDEO

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WALKMAN®

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6~10ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。11ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

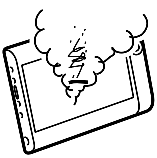
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



1. **電源を切る。**
2. **ACパワーアダプターをコンセントから抜く。**
3. **お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する。**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



この取扱説明書の使いかた

- この取扱説明書では、本体のボタンを使った操作説明を主体にしています。本体と同じ名前のリモコンのボタンも同じように使えます。リモコンのボタンを使う場合は、文中に明記してあります。
- 「DVD」は、DVDビデオ、DVD-R/DVD+R、DVD-RW/DVD+RWの総称です。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD	DVDビデオ、ビデオモードのDVD-R/DVD+RまたはDVD-RW/DVD+RW、VRモードのDVD-RW/DVD+RWで使える機能
VCD	ビデオCD/ビデオCDフォーマットのCD-R/CD-RWで使える機能
CD	音楽用CD/音楽用CDフォーマットのCD-R/CD-RWで使える機能
MP3	CD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RWのMP3ファイルで使える機能
JPEG	CD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RWのJPEGファイルで使える機能

目次

準備

再生

設定

接続

その他

商標について

警告 火災 感電 下記の注意を守らないと**火災・感電、**
または**大けが**の原因となります。

運転、歩行中の使用について



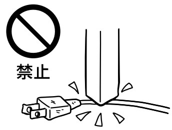
- 自動車、オートバイなどの運転をしながら、液晶画面を見たり、ヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対にお止めください。交通事故の原因になります。
- 車の中でお使いになるときは、運転の妨げにならない安全な場所にしっかりと固定してください。
- 歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない。



上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

電源コードを傷つけない。



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、かならずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

内部に水や異物を入れない。

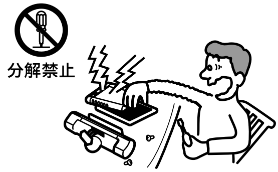


水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、電源を抜き、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

⚠警告 火災 感電 下記の注意を守らないと**火災・感電**、または**大けが**の原因となります。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない。

火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。

感電の原因になることがあります。



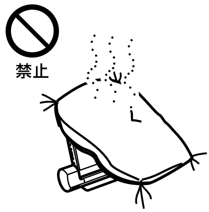
指定以外のACパワーアダプターを使わない。

破裂や液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



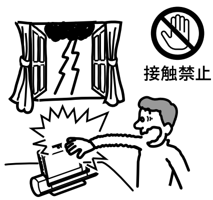
本体やスピーカークレードル、ACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。

感電の原因になります。



⚠注意　下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない。

禁止



- 耳を刺激するような大きな音で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。
- ヘッドホンの音量を上げすぎると音が外にもれます。まわりの人に迷惑にならないように気をつけてください。

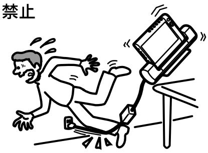
はじめからボリュームを上げすぎない。

禁止

突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDVDなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

コード類は正しく配置する。

禁止

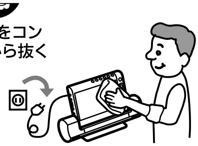


ACパワーアダプターや電源コード、AVコードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

お手入れの際、ACパワーアダプターや電源プラグを抜く。



プラグをコンセントから抜く



電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスク、ハート形などの特殊形状のディスクを再生しない。

禁止



本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

本機の上に重いものを乗せない。

禁止

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

⚠注意　下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えることがあります。

通電中のACパワーアダプターやスピーカーケーブル、製品に長時間触れない。

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

液晶画面に強い力や衝撃を加えない。

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れてけがの原因となることがあります。

禁止

本体に強い衝撃を与えない。

故障の原因となることがあります。

禁止

液晶画面を長時間続けて見ない。

液晶画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは、医師の診察を受けてください。

禁止

電池についての安全上のご注意

この製品はリチウムイオン充電池を内蔵しています。
液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告 充電式電池、ボタン型電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、ボタン型電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠警告 ボタン型電池（リモコン用）について

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意 ボタン型電池（リモコン用）について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

⚠警告 充電スタンド（スピーカークレードル）を付属している場合

充電スタンド（スピーカークレードル）にコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電端子が金属につながると、ショートし、発熱することがあります。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。
詳しくは、「本機を廃棄するときのご注意」（☞58ページ）をご覧ください。

使用上のご注意

本体の温度上昇について

- 充電中および長時間お使いになると、本体の温度が上昇しますが、故障ではありません。
- キャリングポーチに入れたままで使用しないでください。

本機の取り扱いについて

- ディスクテーブルのレンズには指を触れないでください。また、ホコリがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。
- 落としたり重いものを乗せたりしないでください。本機に強いショックを与えたり、圧力をかけたりしないでください。ディスクに傷がついたり、本機の故障の原因となることがあります。
- 次のような場所には置かないでください。
  – 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所。
  – 直射日光下で窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  – チューナーやテレビ、ビデオデッキから近いところ。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）
  – 電子レンジや大音量スピーカーなど磁気の強いものから近い所。
  – ホコリの多い所。
  – ぐらついた台の上や傾いた所。
  – 振動の多い所。
  – 風呂場など、湿気の多い所。

結露について

本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、数時間放置してからお使いください。もし数時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。
- 液晶ディスプレイの表面を濡れたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。

次のページにつづく

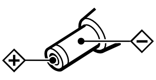
- 本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶ディスプレイに結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。

充電について

- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と取り換える必要があります。お客様ご相談センター（☞裏表紙）にご相談ください。(本機に内蔵されている充電式電池は、お客様ご自身で交換することはできません。)
- 初めて充電するときや、長時間使用しなかった後では、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か放充電を繰り返すと通常の状態に戻ります。

ACパワーアダプターについて

- 本機には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ
（JEITA規格）

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は、速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターを本棚や組み込みキャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険を避けるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使わないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

ヘッドホンについて

- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。
- 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
  雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

音量を調整するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



お手入れのしかた

■ 表面が汚れたときは

キャビネットが汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液をしめらせた布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

■ ヘッドホンプラグのお手入れについて

常によい音でお楽しみいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音、音切れの原因になることがあります。

■ クリーニングディスクについて

市販のレンズ用クリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

本機で再生できるディスクは？

本機では、以下のディスクを再生できます。
以下のロゴは商標です。

DVD

ディスクの種類	ディスクのラベル
DVDビデオ	DVD VIDEO
DVD-R*	DVD R
DVD-RW*	DVD RW
DVD+R*	RW DVD+R
DVD+RW*	RW DVD+ReWritable

* MP3/JPEGファイルが記録されたディスクを含む。
VRモードを含む。（ただし、VRモードで記録されたディスクでは一部の機能が使用できません。）

再生可能なDVDの地域番号（リージョンコード）について

DVDには地域番号が表示されています。地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があり、本機で再生できないことがあります。
リージョンコードは本機の裏面に表示されています。

画とびについてのご注意

DVDにキズや汚れなどがあると、信号の読み取りができなかったり、画とびが発生することがあります。
また、ごくまれに、ディスクとプレーヤーの相性によって音とびが発生することがあります。このような場合は、該当するディスクとプレーヤーをお近くのソニーサービス窓口にお持ちください。

デジタルサラウンド対応のディスクについて

ドルビーデジタルまたはDTS音声で記録されたディスクの再生を、より効果的にお楽しみいただくには、本機に外部サラウンドデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続する必要があります。詳しくは、「オーディオ機器で聞く」（☞52ページ）をご覧ください。

CPRM対応のディスクについてのご注意

CPRM対応のDVD-RディスクもしくはCPRM対応のDVD-RWディスクに録画した「1回だけ録画可能」な番組の再生はできません。（CPRM: Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。）

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

ビデオCD

ディスクの種類	ディスクのラベル
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO

プレイバックコントロール（PBC）について

本機は、PBC対応ビデオCD（バージョン2.0）にも対応しています。（PBCとは、Playback Controlの略です。）

ディスクのタイプによって、次の2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBC対応でないビデオCD（バージョン1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。
PBC対応ビデオCD（バージョン2.0）	上記（PBC対応でない場合）の楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニュー画面（選択画面）を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（PBC再生☞41ページ）。また、高精細の静止画も再生できます。

CD

ディスクの種類	ディスクのラベル
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R*	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable
CD-RW*	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

* MP3/JPEGファイルが記録されたディスクを含む。

著作権保護技術対応音楽ディスクについてのご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生できない場合もあります。

DualDiscについてのご注意

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

次のページにつづく

MP3

本機はMP3形式のファイルを再生できます。
MP3（MPEG1 Audio Layer3の略）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

ご注意

- MP3ファイルには、「.mp3」の拡張子を付けてください。ただし、MP3以外のファイルに「.mp3」の拡張子を付けると、そのファイルは正しく認識されません。
- 320kbpsなどの高ビットレートで記録されているMP3ファイル再生時には、音とびする場合があります。
- 本機はMP3ファイルのID3タグのバージョン1.0、2.0に対応しています。対応言語は英語です。

JPEG

JPEGファイルには、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」の拡張子を付けてください。

すべてのディスクについて

- 本機はNTSC/PALカラーテレビ方式に対応しています。それ以外のカラーテレビ方式対応のディスクは再生できません。
- お客様が編集されたCD-R/CD-RWやDVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RWは、書き込みに使用したレコーダーやディスクの状態によって再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理（通常のDVD/CDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされたディスクを再生してください。ファイナライズ処理をされていないディスクは再生できない場合があります。
- CD-ROMやCD-R、CD-RW（データCD）は、ISO9660のレベル1/レベル2/Joliet準拠で記録されている必要があります。
- DVD-ROMやDVD+R、DVD+RW、DVD-RW、DVD-R（データDVD）は、ユニバーサルディスクフォーマット（UDF）準拠で記録されている必要があります。

ご注意

- 最大容量まで記録する場合は、書き込みソフトで「追記禁止」の設定をしてください。
- 未使用のCD-R/CD-RWディスクに最大容量まで1回で記録する場合は、書き込みソフトで「Disc at Once（ディスクアット ワンス）」の設定をしてください。
- 次のようなディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。
  – 多くの階層や複雑な構成で記録したディスク
  – セッションの追加が可能なディスク
- 本機で次のディスクを再生することはできません。
  – DVD-Audio
  – DVD-RAM
  – DVD-ROM
  – スーパーVCD（SVCD）
  – CD-I
  – CD-G
  – スーパーオーディオCD（SACD）
  – Photo CD
  – VSD（ビデオシングルディスク）
  – CD-Extraのデータ部分

– Mixed CDのオーディオ部分
– MP3とJPEG以外のデータのCD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW

著作権について

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY DIGITAL

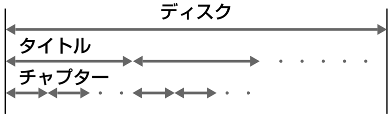
- DTSおよびDTS 2.0 + Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

dts 2.0+DIGITAL OUT

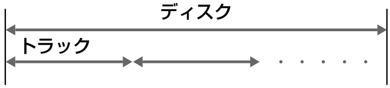
- 本機で使用している韓国語、欧文、ロシア語のフォントの著作権は、株式会社リコーに帰属しています。

ディスクに関する用語の説明

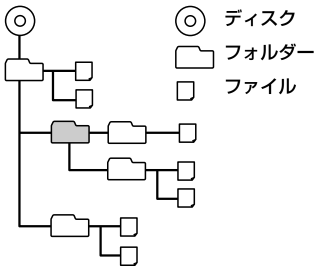
DVD



VCD CD



MP3 JPEG



- **タイトル**

  DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位です。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたります。それぞれのタイトルに順に付けられた番号をタイトル番号といいます。

- **チャプター**

  DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されます。それぞれのチャプターに順に付けられた番号をチャプター番号といいます。ディスクによってはチャプターが記録されていないものもあります。

次のページにつづく

• **トラック**

ビデオCDや音楽用CDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）をトラックといいます。それぞれのトラックに順に付けられた番号をトラック番号と言います。

• **シーン**

PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのことをシーンといいます。シーンごとに順に付けられた番号をシーン番号といいます。

• **フォルダー**

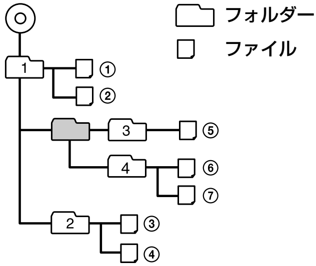
ファイルを束ねたものをフォルダーといいます。音楽ソフトのアルバムに相当します。フォルダーにはフォルダー名が付けられています。

• **ファイル**

1つの映像や曲のデータをファイルといいます。ファイルにはファイル名が付けられています。

MP3/JPEGの再生順序

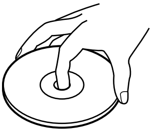
書き込みの方法によって再生の順番が異なる場合があります。下記の例では、①から⑦の順にファイルが再生されます。



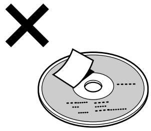
（使用できる最大ディレクトリ階層：8階層）

ディスクの取り扱いかた

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。次のことにご注意ください。



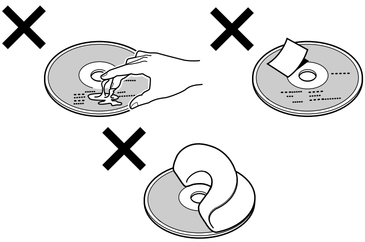
記録面に触れないように持つ。



**ディスクに紙などを貼らない。
キズをつけない。**

こんなディスクは使わないでください

本機内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。



- 中古やレンタルディスクでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの。また、ラベル面に印刷されているインクにベたつきのあるもの。
- レンタルディスクでシールなどがめくれているもの。
- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの。

ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。
次のような故障の原因となることがあります。

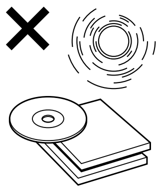
– ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。

– 高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります（再生できない、音とびがするなど）。

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形やハート形、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

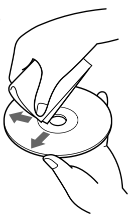
保存

ディスクケースに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。
特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



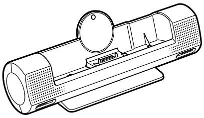
お手入れ

再生する前に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。
ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。
静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

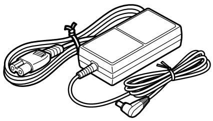


付属品を確かめる

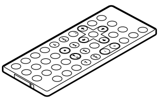
- スピーカークレードル(1)



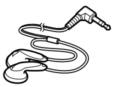
- ACパワーアダプター(1)



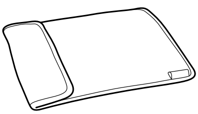
- リモコン(電池入り)(1)



- ステレオヘッドホン(1)



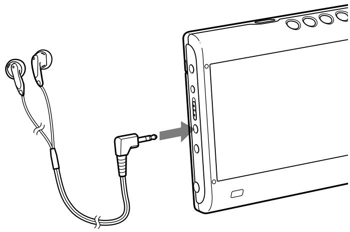
- キャリングポーチ(1)



- 取扱説明書（本書）(1)
- 保証書(1)
- ソニーご相談窓口のご案内(1)

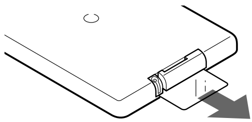
ヘッドホンを本体につなぐには

ヘッドホンのプラグを本体にしっかり差し込んでください。
PHONES AまたはBジャックのどちらにでもつなげます。両方につなぐこともできます。



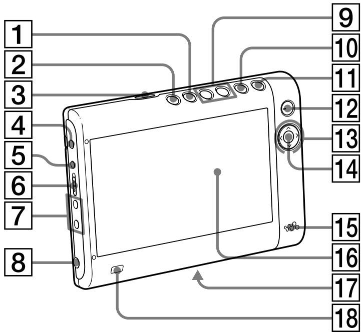
リモコンを使うには

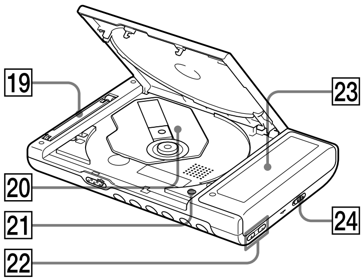
絶縁シートを引き抜いてください。



各部の名前

本体





1 ►II（再生/一時停止）ボタン*（☞28ページ）

2 ■（停止）/POWER ON/OFFボタン（☞26、28ページ）

3 OPENつまみ（☞28ページ）

4 VIDEOジャック（☞51、53ページ）

5 AUDIO/OPTICAL OUT（音声/光出力）ジャック（☞51 ～ 53ページ）

6 LINE SELECT IN/OUT（入出力切り換え）スイッチ（☞28、51～53ページ）

7 PHONES A/Bジャック（☞20ページ）

8 DC IN 12Vジャック（☞25ページ）

9 I◄◄/►►I（前/次）ボタン（☞28ページ）

10 TOP MENUボタン（☞30ページ）

11 MENUボタン（☞31ページ）

12 LCD MODE（画面モード）/BRT（明るさ）ボタン（☞43ページ）

13 矢印（∧/∨/</>）ボタン（☞26、44ページ）

14 ENTボタン（☞26、44ページ）
押し続けると、設定メニューを表示したり、終了したりすることができます。詳しくは、「時計を合わせる」（☞26ページ）、「設定メニューを使う」（☞44ページ）をご覧ください。

15 W.（動作状態）ランプ（☞22ページ）

16 液晶画面（☞43ページ）

17 スピーカークレードル接続端子（☞24ページ）

18 リモコン受光部
リモコンで操作するときは、ここに向けて操作してください。

19 簡易スタンド（☞22ページ）

20 ディスク入れ（☞28ページ）

21 RESETボタン（☞56ページ）

22 VOL（音量）＋*/－ボタン（☞28ページ）

23 充電式電池（内蔵）

24 HOLDスイッチ（☞30ページ）

* 凸点（突起）が付いています。操作の目印として使ってください。

ちょっと一言

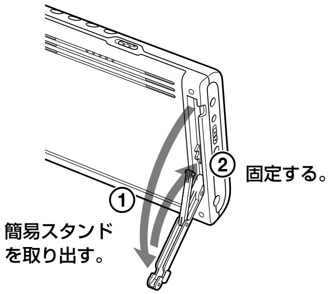
■ボタンを押し続けると電源が入ります。電源を切るには、W.ランプが赤く点灯するまで■ボタンを押し続けます。

簡易スタンドの使いかた

簡易スタンドは、安定した平らな場所でお使いください。

無理な力を加えると折れる恐れがありますのでご注意ください。

本機を操作するときは、手でささえてください。

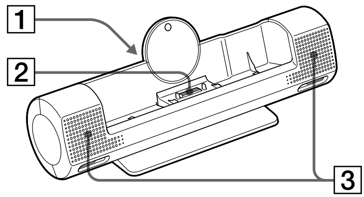


ランプについて

点灯または点滅して、動作状態を示します。

ランプ	動作状態
消灯	電源切（電池駆動中）
赤く点灯	スタンバイ中や、電源を切断するまでの処理をしている間
赤く遅い点滅	本体がHOLD状態のとき、本体のボタンを操作した
赤く早い点滅	バッテリー消耗
緑に点灯	通常動作
緑に点滅	一時停止中
オレンジに点灯	充電中
赤/緑/オレンジに繰り返し点灯	ディスク読み込み中

スピーカークレードル

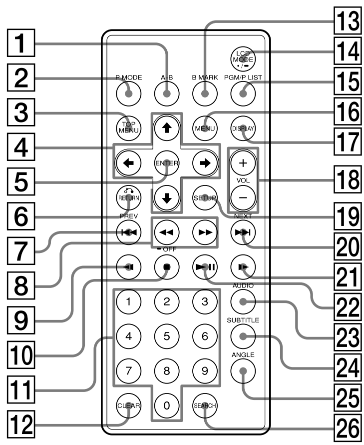


1 DC IN 12Vジャック（☞24ページ）

2 プレーヤー接続端子（☞24、29ページ）

3 スピーカー（☞29ページ）

リモコン



1 A-Bボタン（☞36ページ）

2 P MODEボタン（☞36ページ）

3 TOP MENUボタン（☞30ページ）

4 矢印（↑/↓/←/→）ボタン（☞26、44ページ）

5 ENTERボタン（☞26、44ページ）

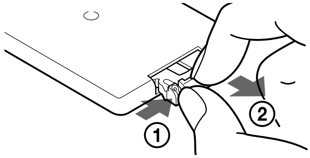
6 ↶RETURNボタン（☞41ページ）
7 ⏮PREV（前）ボタン（☞28ページ）
8 ◀◀/▶▶（高速再生）ボタン（☞28ページ）
9 ◀I（スロー逆再生）ボタン（☞29ページ）
10 ■（停止）/OFFボタン（☞28ページ）
11 数字ボタン（☞32、33ページ）
12 CLEARボタン（☞37、38ページ）
13 B MARKボタン（☞37、39ページ）
14 LCD MODEボタン（☞43ページ）
15 PGM/P LISTボタン（☞37 ～ 39ページ）
16 MENUボタン（☞31ページ）
17 DISPLAYボタン（☞41ページ）
18 VOL＋/－ボタン（☞28ページ）
19 SETUPボタン（☞44ページ）
20 ⏭NEXT（次）ボタン（☞28ページ）
21 I▶（スロー再生）ボタン（☞29ページ）
22 ▶II（再生/一時停止）ボタン*（☞28ページ）
23 AUDIOボタン（☞40ページ）
24 SUBTITLE（字幕）ボタン（☞40ページ）
25 ANGLEボタン（☞40ページ）
26 SEARCHボタン（☞32、33ページ）

* ▶IIボタンは本体とリモコンで働きが少し異なります。充電池で操作しているとき、電源が切れている状態でリモコンの▶IIボタンを押しても、再生は始まりません。

リモコンの電池を交換するには

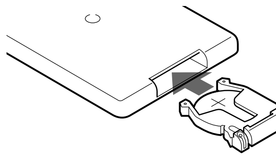
リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。

1 ロックレバーを押したまま（①）、バッテリーホルダーを引き出す（②）。



2 古い電池を取り出す。

3 バッテリーフォルダーに新しい電池を⊕を上向きにして入れ、奥まで確実に押し込む。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないことがあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。リモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

本機を海外へお持ちになるときは

付属のACパワーアダプターは、100 ～ 240Vの電源電圧に対応しています。コンセントの形にあったACプラグアダプターをご用意いただければ、海外でも使用できます。

充電する

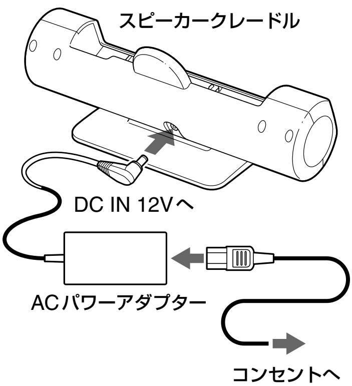
初めて使うときや電池が消耗したときは、充電式電池（内蔵）を充電してください。ACアダプターを常にスピーカークレードルにつないでおけば、充電するときに本体をスピーカークレードルに載せるだけなので、便利です。

ご注意

- 再生中は充電できません。
- 充電中は本体やスピーカークレードルが熱くなる場合がありますが、危険はありません。

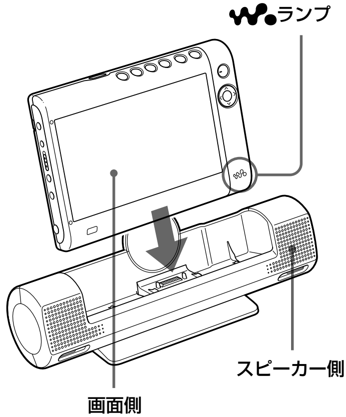
スピーカークレードルを使って充電する

1 スピーカークレードルにACパワーアダプターをつなぐ。



2 本体をスピーカークレードルに載せる。

充電が始まり、ランプがオレンジに点滅したあと、点灯します。



ランプが赤く点灯したら、充電終了です。

充電時間

空の電池を満充電するまで、約3時間かかります。

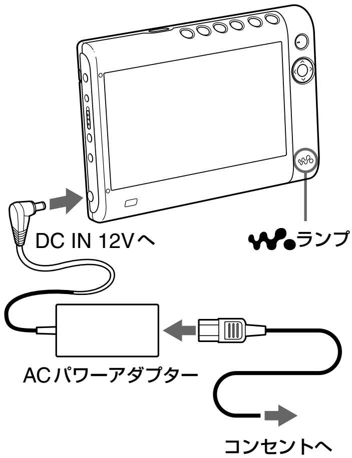
ご注意

スピーカークレードルへの着脱はゆっくり行ってください。

本体で直接充電する

1 ACパワーアダプターをつなぐ。

充電が始まり、ランプがオレンジに点滅したあと、点灯します。



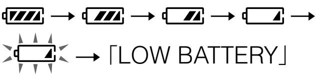
ランプが赤く点灯したら、充電終了です。

充電時間

空の電池を満充電するまで、約3時間かかります。

電池残量を確認する

リモコンのDISPLAYボタンを押すと、画面に以下のように表示されます（☞41ページ）。黒い目盛りが少なくなるほど、残量が減っています。



ご注意

- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況により、残量表示は増減します。
- 電池残量は、電池で使用している場合のみ表示されます。
- JPEG再生中（☞34ページ）や外部信号入力中（☞53ページ）は、電池残量は表示されません。

電池の使用可能時間*

- 満充電の場合
  約3時間使用できます。
- 画面を消している場合（☞43ページ）
  約7時間使用できます。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。
本体を水平に置いて振動のない状態で再生した場合の目安です。再生時間は使用状況によって変わります。

ACパワーアダプターで使う

「スピーカークレードルを使って充電する」（☞24ページ）や「本体で直接充電する」（☞左）と同様に接続します。
再生を始めると、充電が止まります。

ご注意

再生中にACパワーアダプターのプラグを抜くと、内蔵の充電池に残量があっても、再生が停止し、電源が切れます。

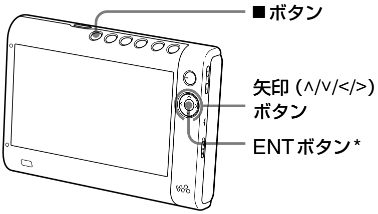
時計を合わせる

以下のとき、時刻が表示されます。

- 充電開始後、3分間
- 電源が切れた状態で、■ボタンまたはENTボタンを押したとき

時刻表示を消すには、■ボタン、ENTボタン、▶IIボタンのいずれかを押します。

次の手順で、時計を合わせてください。

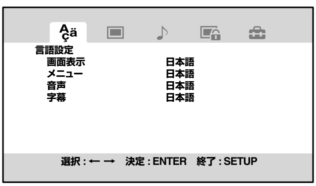


＊ 設定メニューを表示したり終了したりするためと、選択した内容を決定するための両方の操作に使います。

1 ■ボタンを押し続けて、電源を入れる。



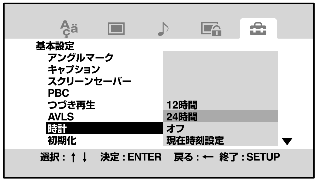
2 設定メニューが表示されるまで、ENTボタンを押し続ける。



3 </>ボタンでを選び、ENTボタンを押す。



4 ∧/∨ボタンで［時計］を選び、ENTボタンを押す。

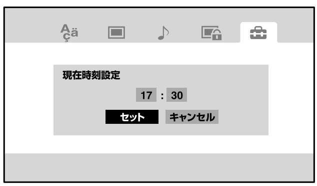


5 ∧/∨ボタンで［現在時刻設定］を選び、ENTボタンを押す。



6 ∧/∨ボタンで時を設定し、>ボタンを押す。

7 ∧/∨ボタンで分を設定し、>ボタンを押す。



8 ENTボタンを押す。

- 時計設定をやめるには、>ボタンを押して［キャンセル］を選びます。

9 もう一度ENTボタンを押し、^/v ボタンで［12時間］または［24時間］を選び、ENTボタンを押す。

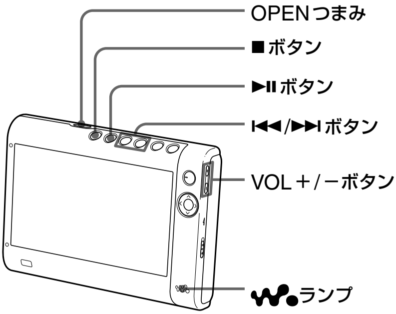
12時間：12時間表示（例：3:20PM）

24時間：24時間表示（例：15:20）

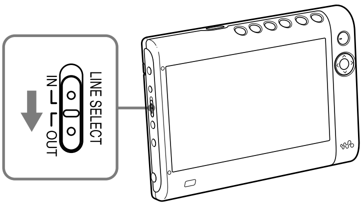
- 時刻を表示しないときは、［オフ］を選んでください。

10 ENTボタンを押し続けて、設定メニューを終了する。

基本的な再生のしかた

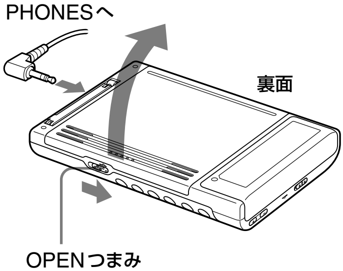


1 LINE SELECTスイッチを「OUT」にする。

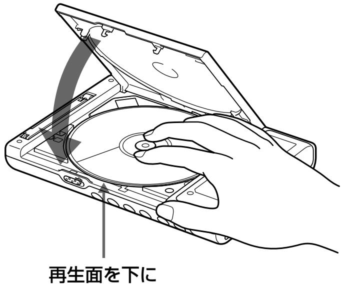


2 OPENつまみをスライドさせてふたを開ける。

あらかじめヘッドホンをPHONES AまたはBジャックにつないでおきます。両方につなぐこともできます。



3 ディスクを入れ、ふたを閉める。



ご注意

液晶画面を下にして置く場合は、傷つけないように平らな場所に置いてください。

4 ►IIボタンを押す。

再生が始まります。ランプは緑に変わります。

5 VOL＋/－ボタンを押して音量を調節する。

こんなときは	操作
一時停止	►IIを押す。もう一度押すと、再生に戻る。
停止	■を押す。 ディスクを取り出さなければ、►IIを押すと再生を止めたところから再生が始まる（つづき再生機能*）。
次の映像や曲に進む	►►Iを押す。
前の映像や曲に戻る	I◄◄を押す。
早送り/早戻し	I◄◄または►►Iボタンを押し続ける。再生スピードが2、4、8、16、32倍になる。 リモコンでは、◄◄または►►を繰り返し押す。

こんなときは	操作
スロー再生（送る） DVD VCD	リモコンの▮► ボタンを押す。押すごとに再生スピードが1/2、1/4、1/8、1/16になる。
スロー逆再生（戻す） DVD	リモコンの◄▮ ボタンを押す。押すごとに再生スピードが1/2、1/4、1/8、1/16になる。

* MP3とJPEGではできません。

ちょっと一言

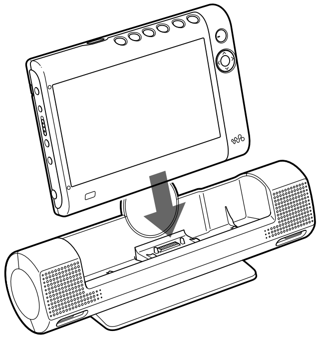
つづき再生機能を解除するには、再生停止中に■ボタンを押します。

ご注意

操作中に⃠マークが表示されたときは、再生中のディスクではその操作ができないことを示しています。特にDVDやPBC付きビデオCDでは、ディスクによって操作が制限されることがありますので、ディスクの説明書もあわせてお読みください。

クレードルのスピーカーで聞くには

本体をスピーカークレードルに載せる。

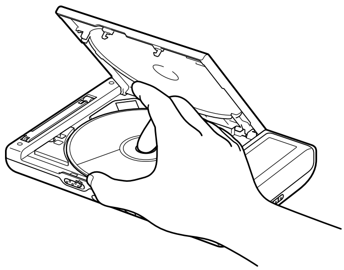


ご注意

- ヘッドホンがつながっていると、スピーカークレードルから音が出ません。
- スピーカークレードルへの着脱はゆっくり行ってください。
- ACパワーアダプターを接続して再生中、本機をスピーカークレードルからはずすと、内蔵の充電池に残量があっても、再生が停止し、電源が切れます。

ディスクを取り出すには

中心の黒い部分を押さえながら、端の方からつまみあげる。

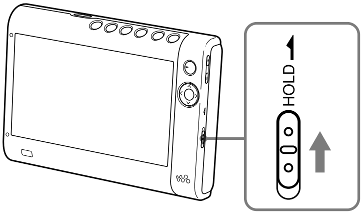


再生

誤操作を防ぐ（HOLD機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、誤操作するのを防ぎます。本体のHOLD機能が働いているときは、操作してもランプがしばらく赤く点滅して、操作が無効になります。

1 **HOLDスイッチを矢印の方向にスライドする。**



HOLDを解除するには

HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドする。

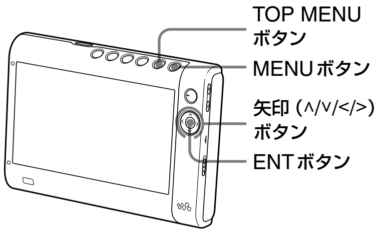
ちょっと一言

本体のHOLDが働いていても、リモコンでは操作できます。

映像を再生する

「基本的な再生のしかた」（☞28ページ）もあわせてお読みください。

DVDを再生する



トップメニューを使う

DVDには、複数の映像や曲が記録されたディスクがあります。これらの映像や曲の大きな区切りをタイトルといいます。複数のタイトルがあるディスクでは、トップメニューで好きなタイトルを選んで再生できます。トップメニューはディスクによって異なります。ディスクの説明書もあわせてお読みください。

1 **TOP MENUボタンを押す。**

トップメニューが表示されます。

2 **∧/∨/</>ボタンを押してタイトルを選び、ENTボタンを押す。**

選んだタイトルの再生が始まります。

ちょっと一言

トップメニューを操作の途中で消したいときは、TOP MENUボタンを押します。

DVDメニューを使う

DVDには、ディスクの内容をメニューで選べるディスクがあります。このようなディスクでは、再生したい項目や字幕言語、音声言語などをDVDメニューで選べます。DVDメニューはディスクによって異なります。ディスクの説明書もあわせてお読みください。

1 **MENUボタンを押す。**
DVDメニューが表示されます。

2 **∧/∨/</>ボタンを押して項目を選び、ENTボタンを押す。**
さらにメニュー画面が表示される場合は、手順2を繰り返してください。

ご注意

ディスクによっては、DVDメニューが記録されていないものもあります。また、タイトルメニューと同じ場合もあります。

ちょっと一言

DVDメニューを操作の途中で消したいときは、MENUボタンを押します。

字幕を切り換える

字幕が記録されているディスクは、字幕を表示したり切り換えたりできます。語学の学習などに便利です。
リモコンで切り換えることができます（☞40ページ）。

音声言語を切り換える

複数の言語（マルチランゲージ）で音声が記録されているディスクでは、好きな言語の音声に切り換えられます。
リモコンで切り換えることができます（☞40ページ）。

ビデオCDを再生する

PBC（プレイバックコントロール機能）対応ビデオCDを入れるとPBCメニューが表示されます。PBCメニューを使って再生や検索ができます。操作にはリモコンを使います（☞41ページ）。
PBCを使わずに再生するには、MENUボタンを押します。画面に[PBC オフ]と表示され、再生が継続します。PBC再生に戻すには、もう一度MENUボタンを押します。
PBCメニューが表示されないように設定することもできます（☞50ページ）。

見たい場面を探す DVD VCD

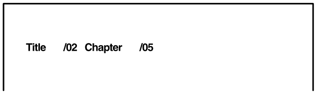
再生したい項目の番号（タイトル、チャプター、トラック、ファイル）や、場面の時間（時：分：秒）を指定することができます。

1 リモコンのSEARCHボタンを押して、サーチ項目を選ぶ。

サーチ項目	画面表示	ディスク／フォーマット
タイトル/チャプターサーチ	Title 00/00 Chapter 00/00	DVD
タイトルタイムサーチ	Title 00/00 Time 0:00:00	DVD
チャプタータイムサーチ	Chapter 00/00 Time 0:00:00	DVD
トラックサーチ	トラック選択：00/00	VCD
トラックタイムサーチ	トラック時間：00:00	VCD
ディスクタイムサーチ	ディスク時間：00:00	VCD

例：2タイトルが記録されているDVDで、タイトル2を選ぶ。そのタイトルに入っている5チャプターのうち、チャプター3を選ぶ。

1 リモコンのSEARCHボタンを繰り返し押して、「Title /02 Chapter /05」を選ぶ。



2 <ボタンを押し、数字ボタンで、0、2を入力する。
チャプター番号を入力できるようになります。

- タイトル入力に戻るには、<ボタンを押します。

3 数字ボタンで、0、3を入力する。
再生が始まります。

ご注意

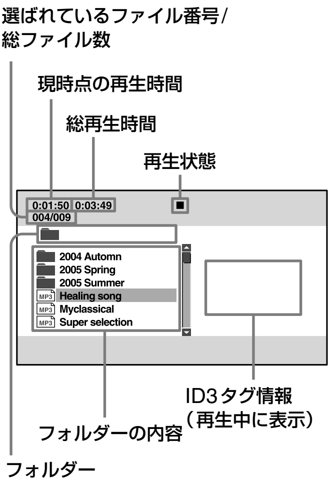
- DVDによっては、タイトルやチャプターを指定できないことがあります。
- ビデオCDのPBC再生中は、この機能は使えません。

音楽を再生する

「基本的な再生のしかた」(☞28ページ)もあわせてお読みください。

MP3を再生する

ディスクが読み込まれると、ファイル一覧が画面に表示されます。



1 **∧/∨/</> でファイルを選ぶ。**

- フォルダー内のファイルを選ぶには∧/∨を押します。
- フォルダーを選んで、ENTを押すと、フォルダーに入れます。(>を押しても同様に行えます。)
- フォルダーの内容の一番上の項目を選んで、ENTを押すと、元のフォルダーに戻ります。(<を押しても同様に行えます。)

2 **▶II ボタンを押す。**

再生が始まり、画面右側にID3タグ情報が表示されます。

ちょっと一言

- ファイル一覧画面で、停止中に I◀◀ ボタンを押すと上に、▶▶I ボタンを押すと下にページを送ることができます。
- 本機はMP3ファイルのID3タグのバージョン1.0、2.0に対応しています。対応言語は英語です。

再生

聞きたい曲を探す CD MP3

再生したい曲(トラック、ファイル)の番号や再生時点の時間(時:分:秒)を指定することができます。

1 **リモコンのSEARCHボタンを押して、サーチ項目を選ぶ。**

サーチ項目	画面表示	ディスク/フォーマット
トラックサーチ	トラック選択:00/00	CD
ファイルサーチ	000/000	MP3
トラックタイムサーチ	トラック時間:00:00	CD
	0:00:00	MP3
ディスクタイムサーチ	ディスク時間:00:00	CD

例:24トラックが記録されている音楽用CDでトラック8を選ぶ。

1 リモコンのSEARCHボタンを繰り返し押して、「トラック選択: /24」を選ぶ。

2 数字ボタンで0、8を入力する。

- 番号を間違えたときは、手順1から操作しなおしてください。

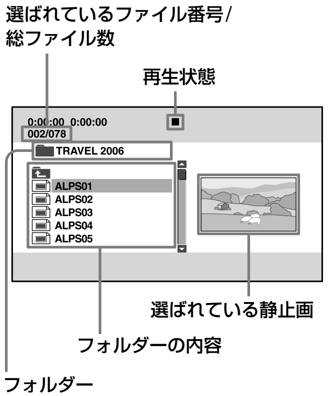
静止画を再生する

JPEG

「基本的な再生のしかた」(☞28ページ)もあわせてお読みください。

スライドショーで見る

ディスクが読み込まれると、ファイル一覧が画面に表示されます。



1 **∧/∨/</>でファイルを選ぶ。**

- フォルダー内のファイルを選ぶには∧/∨を押します。
- フォルダーを選んで、ENTを押すと、フォルダーに入れます。(>を押しても同様に行えます。)
- フォルダーの内容の一番上の項目を選んで、ENTを押すと、元のフォルダーに戻ります。(<を押しても同様に行えます。)

2 **►II ボタンを押す。**

スライドショーが始まります。静止画は5秒ごとに切り換わります。

ちょっと一言

- ファイル一覧画面で、停止中に I◄◄ ボタンを押すと上に、►►I ボタンを押すと下にページを送ることができます。
- ファイル一覧画面に戻るには、MENUボタンを押します。

切り換わりかたを選ぶ

1 **スライドショー中に、リモコンのPGM/P LISTボタンを繰り返し押す。**

下記の切り換わりかたを選べます。

画面表示	切り換わる方向
Wipe Top	上から下
Wipe Bottom	下から上
Wipe Left	左から右
Wipe Right	右から左
Diagonal Wipe Left Top	左上から右下
Diagonal Wipe Right Top	右上から左下
Diagonal Wipe Left Bottom	左下から右上
Diagonal Wipe Right Bottom	右下から左上
Extend From Center H	中央から上下に広がる
Extend From Center V	中央から左右に広がる
Compress To Center H	上下から中央に広がる
Compress To Center V	左右から中央に広がる
Window H	横じま模様で切り換わる
Window V	縦じま模様で切り換わる
Wipe From Edge to Center	外から中央に箱型で切り換わる
Move In From Top	点描画のように切り換わる

（表示なし）	通常のスライドショー

サムネイルを表示する

1 **スライドショー中に、■ボタンを押す。**

サムネイル画面が表示されます。



2 **∧/∨/</>で画像を選び、ENTボタンを押す。**

選ばれた静止画からスライドショーが始まります。

ちょっと一言

ファイル一覧画面に戻るには、MENUボタンを押します。

静止画を回転する

1 **回転したい静止画が表示されているときに、∧/∨/</>を押す。**

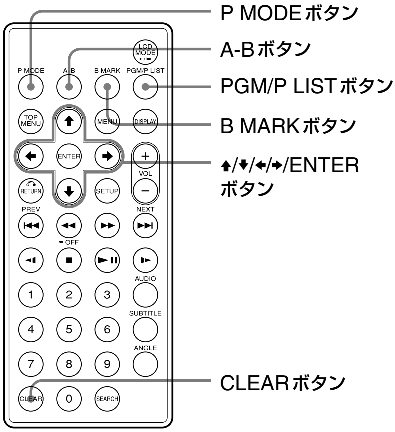
>：右に90度回転する。

<：左に90度回転する。

∧：上下に反転する。

∨：左右に反転する。

いろいろな再生をする



繰り返し再生する（リピート再生）

いろいろな項目ごとに、繰り返し再生できます。

1 **リモコンのP MODEボタンを繰り返し押して、リピート項目を選ぶ。**



リピート項目	再生モード表示	ディスク／フォーマット
ディスク内の全チャプター/全トラック	［全て］	DVD VCD CD
指定したタイトル	［タイトル］	DVD

再生

次のページにつづく

再生中のチャプター	[チャプター]	DVD
指定したトラック/ファイル	[トラック]	VCD CD MP3 JPEG

フォルダーをリピート再生するには
MP3 JPEG

フォルダー内の全ファイルを繰り返し再生できます。

1 ファイル一覧画面でフォルダーを選ぶ。

2 リモコンのP MODEボタンを押して、 を表示する。

通常再生に戻すには
再生モードが と表示されるまで、P MODEボタンを繰り返し押す。

チャプターやトラックの一部を繰り返し再生する
（A-Bリピート再生）
DVD VCD CD MP3

DVDでは、チャプターを超えてA点とB点を設定できます。

1 再生中に、繰り返し再生したい部分の先頭（A点）で、リモコンのA-Bボタンを押す。

Aが表示されます。

A

2 繰り返し再生したい部分の最後（B点）でA-Bボタンを押す。

A-Bが表示されます。

A点に戻り、再生が始まります。

通常再生に戻すには
A-Bボタンをを押して、A-B表示を消す。

ご注意

プログラム再生（☞ 37ページ）時は、チャプターを超えて設定することはできません。

順不同で再生する
（シャッフル再生）
CD MP3 JPEG

ディスク内の全トラックやフォルダー内の全ファイルを順不同で再生します。

1 フォルダーを選ぶ（MP3とJPEGのみ）。

2 リモコンのP MODEボタンを繰り返し押して、[シャッフル] を表示する。

シャッフル

通常再生に戻すには
再生モード表示が消えるまで、P MODEボタンを繰り返し押す。

MP3、JPEGの場合は、再生モードが と表示されるまで、P MODEボタンを繰り返し押す。

ちょっと一言

音楽CDの場合は、P MODEボタンを繰り返し押して、[シャッフル] を表示すると、シャッフル再生を繰り返すことができます。

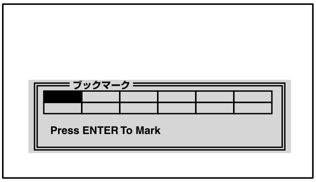
好きな場所を再生する（ブックマーク）

DVD VCD CD

再生中に、後で見たい場所にブックマーク（しおり）を付けることができます。1枚のディスクに12か所ブックマークを付けられます。

1 再生中に、リモコンのB MARKボタンを押す。

ブックマーク登録画面が表示されます。



2 ↑/↓/←/→ボタンで空欄を選び、ENTERボタンを押す。

再生中の場所が登録されます。

3 他の場所にブックマークを付けたいときは、手順2を繰り返す。

- ブックマーク登録画面を消すには、B MARKボタンを押します。
- 登録したブックマークを削除するには、↑/↓/←/→ボタンで削除したいブックマークを選び、CLEARボタンを押します。

再生するには

1 B MARKボタンを押して、ブックマーク登録画面を表示する。

2 ↑/↓/←/→ボタンで再生したいブックマークを選び、▶IIボタンを押す。
選んだ場所から再生が始まります。

ご注意

ふたを開ける、または電源を切ると、登録したブックマークは消去されます。

再生

好きな順序で再生する（プログラム再生）

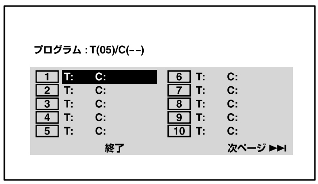
DVD VCD CD

タイトル、チャプター、トラックを自由に並べ替えてプログラムを作成し、再生できます。タイトル/チャプター、またはトラックを最大20までプログラムできます。例として、DVDのタイトル5のチャプター12を登録します。

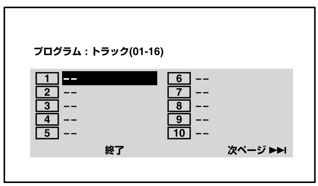
1 リモコンのPGM/P LISTボタンを押して、［プログラム］を表示する。

プログラム登録画面が表示されます。

DVDのプログラム登録画面



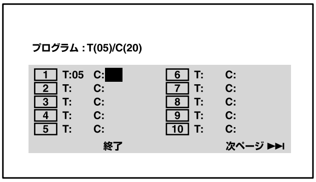
VCD/CDのプログラム登録画面



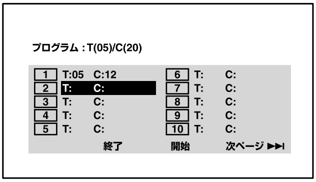
次のページにつづく

2 **数字ボタンの0、5を押す。**

- 間違えたときはCLEARボタンを押してから、正しい数字ボタンを押します。



3 **数字ボタンの1、2を押す。**



4 **手順2、3を繰り返し、他のタイトル/チャプターを登録する。**

- 次のページを表示するには ▶▶I ボタンを、前のページを表示するには I◀◀ ボタンを押します。

5 **↑/↓/←/→ ボタンで［開始］を選び、ENTERボタンを押す。**

再生が始まります。

プログラム再生を繰り返すには

手順5の後に、リモコンのP MODEボタンを繰り返し押して［⟲プログラム］を表示する。

プログラムを取り消すには

プログラム再生中、プログラム登録画面を表示して、↑/↓/←/→ボタンで［キャンセル］を選び、ENTERボタンを押す。

登録した内容を変更するには

1 プログラム登録画面で、↑/↓/←/→ ボタンで変更したい番号を選ぶ。

2 正しい番号を入力する。

登録した内容を削除するには

1 プログラム登録画面で、↑/↓/←/→ ボタンで削除したい番号を選ぶ。

2 CLEARボタンを押す。

ご注意

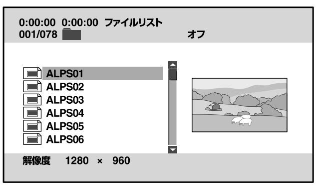
- ふたを開ける、または電源を切ると、登録したプログラムは消去されます。
- プログラム再生中は、登録した内容を変更・削除できません。
- プログラム再生中は、トップメニュー、DVDメニューは表示できません。

同じ種類のファイルを再生する（ファイルリスト再生）

MP3 JPEG

同じ拡張子を持つファイルをすべて再生します。

1 **再生停止中に、リモコンのPGM/P LISTボタンを押して、ファイルリスト画面を表示する。**



2 **↑/↓でファイルを選び、ENTERボタンを押す。**

選んだファイルと同じ拡張子を持つファイルが画面に表示された順に再生されます。

ファイルリストをシャッフル再生するには

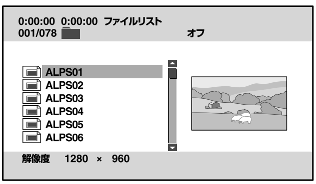
P MODEボタンを繰り返し押して、［シャッフル］を表示する。

好きな順序で再生する（プレイリスト再生）

MP3 JPEG

ファイルを自由に並べ替えてプレイリストを作成し、再生できます。プレイリストには、MP3とJPEGを合わせて100ファイルまで登録できます。

1 **再生停止中に、リモコンのPGM/P LISTボタンを押して、ファイルリスト画面を表示する。**



2 **↑/↓でファイルを選び、リモコンのB MARKボタンを押す。**

3 **手順2を繰り返し、ファイルを選ぶ。**

選んだ順にプレイリストに追加されます。

- 次のページを表示するには▶▶|ボタンを、前のページを表示するには|◀◀ボタンを押します。

再生するには

1. PGM/P LISTボタンを押して、プレイリスト画面を表示する。
2. ENTERボタンを押す。

プレイリストをシャッフル再生するには

P MODEボタンを繰り返し押して、［シャッフル］を表示する。

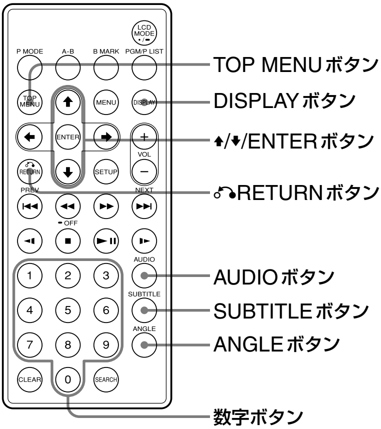
プレイリストからファイルを削除するには

プレイリスト画面で、↑/↓で削除したいファイルを選び、B MARKボタンを押す。

ご注意

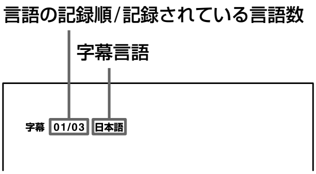
ふたを開ける、または電源を切ると、登録したプレイリストは消去されます。

リモコンで便利に操作する



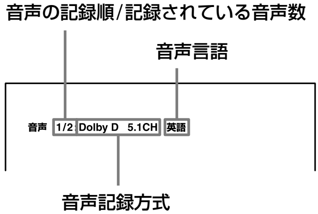
字幕を切り換える DVD

1 再生中に、SUBTITLEボタンを繰り返し押して言語を選ぶ。



音声言語を切り換える DVD

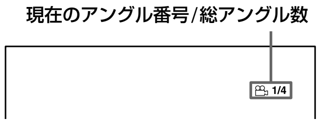
1 再生中に、AUDIOボタンを繰り返し押して言語を選ぶ。



アングルを切り換える DVD

同じ場面が複数のアングルで記録されているディスクでは、見たいアングルを選べます。複数のアングルが記録されていれば、(アングルマーク)が表示されます。

1 再生中に、ANGLEボタンを押す。



2 ANGLEボタンを繰り返し押して、アングルを選ぶ。

ちょっと一言

数字ボタンでアングル番号を入力して、アングルを切り換えることもできます。

音声を切り換える VCD CD

出力する音声（ステレオかモノラル）を選べます。

1 **再生中に、AUDIOボタンを繰り返し押して、[ステレオ]、[左]、[右]、[モノ]を選ぶ。**

プレイバックコントロール機能を使う（PBC再生） VCD

PBC対応ビデオCDのPBCメニューを使って再生や検索ができます。PBCメニューはディスクによって異なります。ディスクの説明書もあわせてお読みください。

1 **PBC対応ビデオCDを再生する。**

2 **数字ボタンで、行いたい（再生したい）項目の番号を入力する。**

3 **PBCメニューを操作する。**

- 一つ前の画面に戻るには、TOP MENUボタンまたは RETURNボタンを押します。

再生情報を見る

再生中の項目、経過時間、バッテリー残量などを確認できます。

1 **再生中に、リモコンのDISPLAYボタンを押す。**

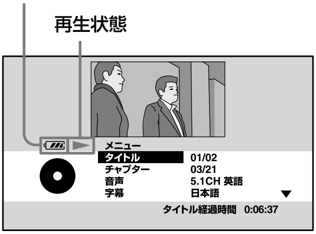
表示を消すには

DISPLAYボタンを押す。

DVD/ビデオCDの情報を見る

DVDの場合

↓を押すと、隠れている項目を表示できます。



以下の項目があります。

- 再生中のタイトル番号/総タイトル数
- 再生中のチャプター番号/総チャプター数
- 音声言語
- 字幕言語
- 現在のアングル番号/総アングル数
- タイトルの再生時間
- チャプターの再生時間
- リピート再生モード
- 経過時間/残り時間
- 時刻*

* 設定メニューで[時計]が[オフ]に設定されているときは、表示されません（☞26ページ）。

ビデオCDの場合

↓を押すと、隠れている項目を表示できます。
以下の項目があります。

- 再生中のトラック番号/総トラック数
- ディスクの再生時間
- トラックの再生時間

次のページにつづく

- リピート再生モード
- 経過時間/残り時間
- 時刻*

* 設定メニューで[時計]が[オフ]に設定されているときは、表示されません（☞26ページ）。

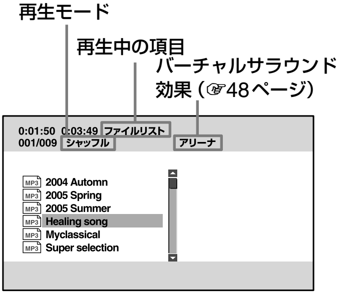
CDの情報を見る

画面上部に、再生中のトラック番号/総トラック数、トラックの現在再生時間が表示されます。
DISPLAYボタンを繰り返し押すと、下記が順番に表示されます。

- トラックの経過時間
- トラックの残り時間
- ディスクの経過時間
- ディスクの残り時間

MP3の情報を見る

DISPLAYボタンを押すたびに、再生状態を表示する画面（☞33ページ）と下記の情報を表示する画面が切り換わります。



ちょっと一言 DVD VCD

DVD/ビデオCDの情報画面で以下の項目を設定できます。

設定のしかた

1 再生情報画面で↑/↓を押して変更したい項目を選び、ENTERボタンを押す。

2 ↑/↓を押して項目や設定を選ぶ。数値を変更するときは、リモコンの数字ボタンを使う。

変更できる項目

DVD

- 再生中のタイトル番号（タイトルを選ぶとき）
- 再生中のチャプター番号（チャプターを選ぶとき）
- 音声言語（言語を変えるとき）
- 字幕言語（言語を変えるとき）
- 現在のアングル番号（アングルを変えるとき）
- タイトルの再生時間（再生する場所を変えるとき）
- チャプターの再生時間（再生する場所を変えるとき）
- リピート再生モード
- 表示時間（タイトル経過時間、タイトル残り時間、チャプター経過時間、チャプター残り時間）

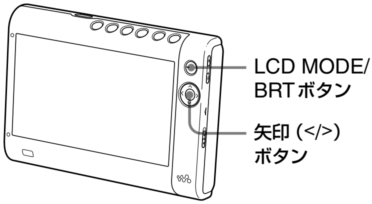
VCD

- 再生中のトラック番号（トラックを選ぶとき）
- トラックの再生時間（再生する場所を変えるとき）
- リピート再生モード
- 表示時間（トラック経過時間またはトラック残り時間）

ご注意

- CD、MP3の情報画面では設定できません。
- DVD/ビデオCDの場合、プログラム再生中は再生情報画面を表示できません。

画面を設定する



画面サイズを切り換えるには

1 **LCD MODE/BRT ボタンを押す。**

押すたびに、16:9→4:3→画面切（表示なし）と切り換わります。

ちょっと一言

音楽を聞くときは、画面切にすると電池の消耗を防げます。

画質を調整するには

明るさ（BRIGHTNESS）、コントラスト（CONTRAST）、色合い（HUE）を調整できます。

1 **[BRIGHTNESS] が表示されるまで、LCD MODE/BRT ボタンを押し続ける。**

2 **LCD MODE/BRT ボタンを繰り返し押して、調節したい項目を表示する。**

[BRIGHTNESS]→[CONTRAST]→[HUE] の順に切り換わります。

3 **</> を押して調整する。**

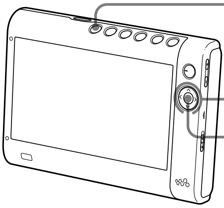
項目	<	>
BRIGHT-NESS	暗くなる	明るくなる
CONTRAST	柔らかくなる	はっきりする
HUE	赤みがかる	緑がかる

ちょっと一言

調整画面はしばらくすると消えます。すぐに消すには、LCD MODE/BRT ボタンを押し続けます。

設定メニューを使う

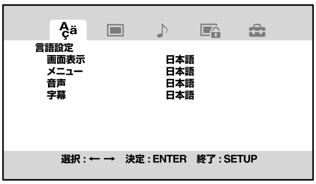
設定メニューを使って、言語や音声などをお好みに合わせて設定できます。



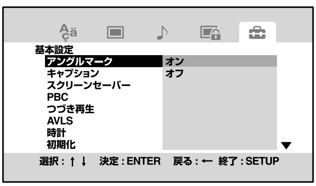
* 設定メニューを表示したり終了したりするためと、選択した内容を決定するための両方の操作に使います。

1 ■ボタンを押し続けて電源を入れる。

2 設定メニューが表示されるまで、ENTボタンを押し続ける。



3 </>ボタンで設定ページを選び、ENTボタンを押す。



4 ^/v ボタンで設定項目を選び、ENTボタンを押す。



5 ^/v ボタンで設定を選び、ENTボタンを押す。

選んだ設定になります。

- 一つ前の画面に戻るには、<ボタンを押します。

6 ENTボタンを押し続けて、設定メニューを終了する。

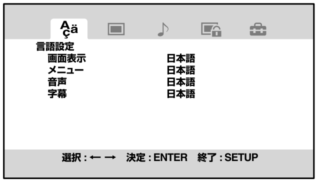
ちょっと一言

リモコンを使う場合は、SETUPボタンで設定メニューを表示します。
↑/↓/←/→/ENTERボタンで設定が終わったら、SETUPボタンで設定メニューを終了します。

設定項目一覧

設定ページ	項目
Aça （言語設定ページ） ☞右	画面表示 メニュー 音声 字幕
（表示設定ページ） ☞46ページ	TVタイプ カラー方式
♪ （オーディオ設定ページ） ☞47ページ	ダウンミックス デジタル出力設定 オーディオDRC イコライザー バーチャルサラウンド
（視聴制限設定ページ） ☞49ページ	制限 パスワード レベル
（基本設定ページ） ☞50ページ	アングルマーク キャプション スクリーンセーバー PBC つづき再生 AVLS 時計 初期化 バージョン

言語を設定する
（言語設定ページ）



項目	設定内容
画面表示	画面表示の言語を選びます。11か国語から選択できます。
メニュー	ディスクメニューの優先言語を選びます。
音声	複数の言語（マルチランゲージ）で音声が記録されているディスクで、音声の優先言語を選びます。
字幕	字幕が記録されているディスクで、字幕の優先言語を選びます。字幕を消すときは、［オフ］を選びます。

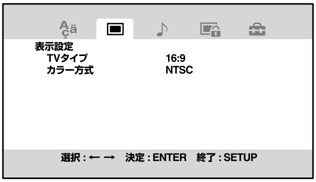
ちょっと一言

［メニュー］、［音声］、［字幕］で［その他］を選んだら、言語コード一覧表（☞61ページ）から言語コードを選んで入力してください。次からは4桁の言語コードが表示されます。

ご注意

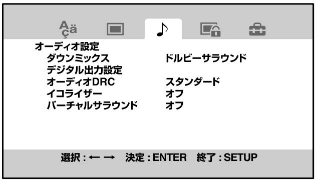
- ［メニュー］、［音声］、［字幕］は、再生中は設定できません。
- ディスクによっては、設定に関係なく他の言語の音声が出力される場合があります。
- ディスクによっては、音声言語が複数記録されていても、音声言語の切り換えを禁止している場合があります。

画像表示を設定する（表示設定ページ）



項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）	
TVタイプ	本機をテレビに接続して、テレビ画面で映像を楽しむとき、画面にあわせてタイプを設定します。	
	● 16:9	ワイド画面テレビ、またはワイドモード機能付きのテレビを接続しているときに選ぶ。
	4:3 レターボックス	画面比率4:3のテレビを接続しているときに選ぶ。ワイド映像は元の画面比率のまま表示され、画面の上下に黒帯が入る。
	4:3 パンスキャン	画面比率4:3のテレビを接続しているときに選ぶ。ワイド映像は画面全体に表示され、左右の映像がカットされる。
カラー方式	外部のテレビなどに映像信号を出力するときのカラー方式を設定します。	
	自動	ディスクのカラー方式で出力する。
	● NTSC	常にNTSC信号を出力する。
	PAL	常にPAL信号を出力する。

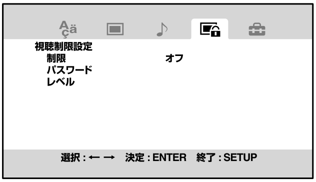
音声を設定する（オーディオ設定ページ）



<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="3">設定内容（●：お買い上げ時の設定）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">ダウンミックス</td><td colspan="3">ドルビーデジタルで記録されているDVDを、ステレオ（2チャンネル）に変換して再生するときに、ダウンミックスの設定を切り換えます。この設定は、AUDIOジャックからの出力信号に反映されます。</td></tr>
<tr><td>● ドルビーサラウンド</td><td colspan="2">ドルビーサラウンド（プロロジック）対応のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。</td></tr>
<tr><td>ノーマル</td><td colspan="2">ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">デジタル出力設定</td><td colspan="3">OPTICAL OUTジャックからのデジタル信号の出力方式を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ドルビーデジタル</td><td>ドルビーデジタル</td><td>ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。</td></tr>
<tr><td>● ダウンミックスPCM</td><td>ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DTS</td><td>DTS</td><td>DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。</td></tr>
<tr><td>● PCM</td><td>DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">48kHz/96kHz PCM</td><td>● 48kHz</td><td>PCM信号を48kHzで出力するときに選ぶ。</td></tr>
<tr><td>96kHz</td><td>PCM信号を96kHzで出力するときに選ぶ。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">オーディオDRC</td><td colspan="3">オーディオDRC（ダイナミックレンジコントロール）に対応したDVDを再生しているとき、音量を下げても、音声を聞き取りやすくします。（ダイナミックレンジの圧縮により、小さな音の音量を維持します。）お好みのレベルに調節してください。この設定は、AUDIOジャックからの出力信号に反映されます。</td></tr>
<tr><td>● スタンダード</td><td colspan="2">通常の設定。</td></tr>
<tr><td>ワイドレンジ</td><td colspan="2">迫力のある音になる。高品質のスピーカーを使うとさらに効果を得られる。</td></tr>
</table>

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）	
イコライザー	ヘッドホンとクレードルのスピーカーからの音質を選びます。	
	● オフ	通常の音質。
	ソフト	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質。
	アクティブ	低域と高域を強調したメリハリのある音質。
	ヘビー	低域と高域をさらに強調した迫力のある音質。
	MEGA BASS1	低音を強調した音質。
	MEGA BASS2	[MEGABASS1]より低音を強調した音質。
バーチャルサラウンド	ヘッドホンとクレードルのスピーカーからの音の広がり感を選びます。	
	● オフ	サラウンドを設定しない。
	ライブ	ライブハウスのような音響が得られる。
	ホール	劇場のような音響が得られる。
	アリーナ	アリーナや体育館などの大きな会場の音響が得られる。

視聴制限を設定する（視聴制限設定ページ）



DVDには、視聴制限機能が記録されているものがあります。本機で設定する制限レベルに応じて、視聴を制限できます。制限レベルは、パスワードをかけることにより、特定の人以外は変更できないように設定できます。
お買い上げ時は、視聴制限は解除の状態（オフ）に設定されています。

視聴制限を設定するには

1 ［制限］を選び、ENTERボタンを押す。
2 ［オン］を選び、ENTERボタンを押す。
- 設定を解除するには、［オフ］を選びます。

3 数字ボタンで、パスワードを入力し、ENTERボタンを押す。
「パスワードを設定するには」をご覧ください。

パスワードを設定するには

1 ［パスワード］を選び、ENTERボタンを押す。
2 もう一度ENTERボタンを押す。
3 数字ボタンで、「2580」と入力する。
新しいパスワードを入力する状態になります。
4 数字ボタンで、4桁のパスワードを入力する。
5 確認のため、もう一度同じパスワードを入力する。

ちょっと一言
すでに設定したパスワードを変更する場合は、手順3で古いパスワードを入力します。

ご注意
登録したパスワードを忘れたときは、「2580」を入力してください。登録したパスワードが取り消されます。

レベルを設定する

1 ［レベル］を選び、ENTERボタンを押す。
2 視聴制限を設定している場合は、パスワードを入力する。
3 視聴制限レベルを選び、ENTERボタンを押す。
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

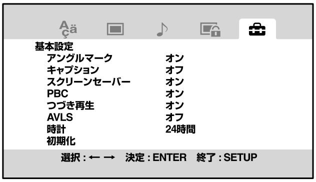
ご注意
再生中は設定できません。

視聴制限レベル

本機の視聴制限レベルは、MPAA（米国映画協会）の視聴規格に準拠しています。
MPAA規格が本機のどのレベルに相当するかは、以下の表をご覧ください。
たとえば、「4」に設定しておくと、視聴制限レベルが「5」、「6」、「7」、「8」のディスクは再生できません。

レベル	MPAA（米国映画協会）基準
1	一般/子どもに不適切な表現なし
2	–
3	子ども向けではない内容が含まれている場合あり
4	13歳以下の子どもには不適切な内容が含まれている場合あり
5	–
6	17歳以下は成人同伴を除き視聴不可
7	成人指定/18歳未満は視聴不可
8	制限なし（すべてのディスクが再生可能）

システムを設定する（基本設定ページ）

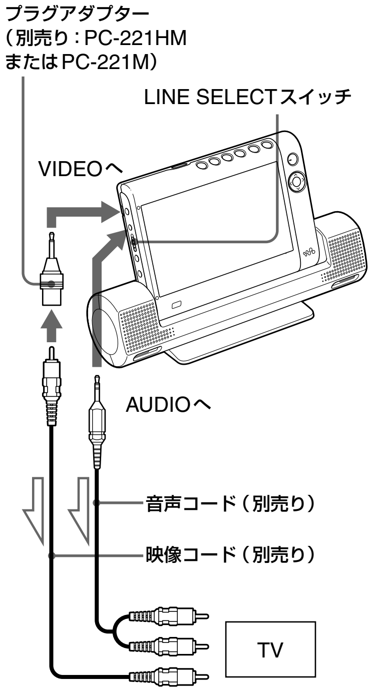


項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）	
アングルマーク	DVDには、同じ場面が複数のアングルで記録されているディスクがあります。［オン］にすると、記録されている場面で画面上部に（アングルマーク）が表示されます。	
	● オン	アングルマークを表示する。
	オフ	アングルマークを表示しない。
キャプション	ディスクによっては、セリフやナレーションの字幕が記録されているものがあります。専用のデコーダーまたはデコーダー内蔵の機器を接続すると、記録されているセリフやナレーションの字幕が表示されます。詳しくは、デコーダーまたはデコーダー内蔵の機器の取扱説明書をご覧ください。	
	オン	セリフやナレーションを画面に表示する。
	● オフ	セリフやナレーションを画面に表示しない。
スクリーンセーバー	［オン］に設定すると、一時停止したままで3分以上経過すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わります。ただし、CDとMP3の場合は、再生中でも3分経過すれば画面が切り換わります。画面の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。	
	● オン	スクリーンセーバーに切り換える。
	オフ	スクリーンセーバーに切り換えない。
PBC	ビデオCDのPBC画面を表示しないように設定できます。	
	● オン	PBC画面を表示する。
	オフ	PBC画面を表示しない。
つづき再生	再生したディスクの停止位置を覚えておき、次にディスクを入れるとその停止位置から再生するように設定できます（つづき再生）。記憶できるディスクの情報は、DVDに換算して5枚、ビデオCDに換算して12枚、CDに換算して30枚までです。その枚数を超えると、古いディスク情報から消去されます。	
	● オン	つづき再生する。
	オフ	つづき再生しない。
AVLS	Automatic Volume Limiter System（オートマチック・ボリューム・リミッター・システム）の略です。［オン］にすると、音もれや耳への圧迫感を軽減するために、一定以上に音量が上がらないようになります（快適音量）。	
	オン	一定以上に音量が上がらない。
	● オフ	音量の制限なしで、操作に合わせて音量が変わる。
時計	☞26ページをご覧ください。	
初期化	視聴制限設定以外の設定を工場出荷時の設定に戻します。ディスクの再生中は設定できません。	
バージョン	ファームウェアのバージョンです。	

テレビで見る

本機で再生した画像をテレビで見るための接続です。映像コードの接続にはプラグアダプターが必要です。接続する機器の説明書もあわせてお読みください。

1 テレビをつなぐ。



2 LINE SELECTスイッチを「OUT」にする。

テレビに合わせて画面サイズを切り換えるには

お買い上げ時は、16:9画面に設定されています。4:3画面で見るときは、［表示設定］ページの［TVタイプ］で選んでください（☞46ページ）。

信号のカラー方式を切り換える

必要に応じて、［表示設定］ページの［カラー方式］で選んでください（☞46ページ）。

ご注意

以下の場合、映像コードを接続すると、設定メニューの画面や表示される文字が上下方向に圧縮されることがありますが、故障ではありません。

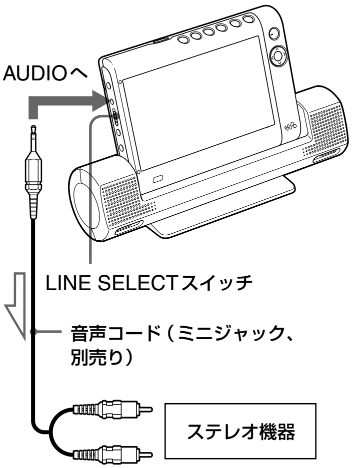
- ［カラー方式］が［PAL］に設定されているとき
- ［カラー方式］が［自動］でPAL方式のディスクを再生したとき

オーディオ機器で聞く

ドルビーデジタルまたはDTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を光デジタルコードで接続すると、ドルビーデジタルまたはDTS音声で記録されたDVDを、サラウンドでお楽しみいただけます。接続するオーディオ機器に合わせて、［オーディオ設定］ページの項目を設定してください（☞47ページ）。接続する機器の説明書もあわせてお読みください。

音声コードで接続する

1 オーディオ機器につなぐ。



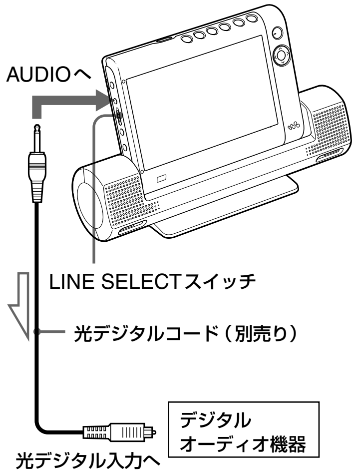
2 LINE SELECTスイッチを「OUT」にする。

ちょっと一言

オーディオ機器が、ドルビーサラウンド（プロロジック）対応の場合は、［オーディオ設定］ページの［ダウンミックス］で［ドルビーサラウンド］を選んでください。対応していない場合は［ノーマル］を選んでください（☞47ページ）。

光デジタルコードで接続する

1 デジタルオーディオ機器につなぐ。



2 LINE SELECTスイッチを「OUT」にする。

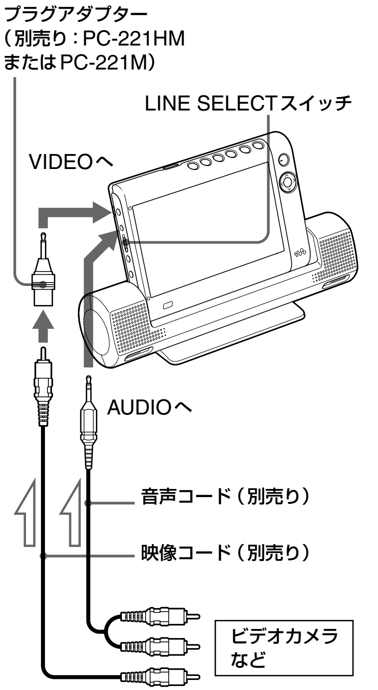
ちょっと一言

- オーディオ機器が、ドルビーサラウンド（プロロジック）対応の場合は、［オーディオ設定］ページの［ダウンミックス］で［ドルビーサラウンド］を選んでください。対応していない場合は［ノーマル］を選んでください（☞47ページ）。
- ドルビーデジタルデコーダー内蔵のアンプをつなぐ場合は、［オーディオ設定］ページの［デジタル出力設定］の［ドルビーデジタル］で、［ドルビーデジタル］を選んでください（☞47ページ）。
- DTSデコーダー内蔵のアンプをつなぐ場合は、［オーディオ設定］ページの［デジタル出力設定］の［DTS］で、［DTS］を選んでください（☞47ページ）。

他の機器の映像を本機で見る

ビデオカメラなどの映像を本機で見ることができます。映像コードの接続にはプラグアダプターが必要です。接続する機器の説明書もあわせてお読みください。

1 映像機器につなぐ。



2 LINE SELECTスイッチを「IN」にする。

ご注意

- 映像が正しく表示されないときは、ENTボタンを押して、本機のカラー方式（PAL/NTSC）を映像に合わせてください。
- 以下の場合、映像コードを接続すると、表示される文字が上下方向に圧縮されることがありますが、故障ではありません。
  - [カラー方式]が[PAL]に設定されているとき
  - [カラー方式]が[自動]でPAL方式のディスクを再生したとき

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、以下の各項目で問題をチェックしてください。それでも問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞裏表紙）またはお買い上げ店に相談してください。

電源

症状	原因 / 処置
充電できない。	→ ディスクを再生している。再生を止める（☞28ページ）。
電源が入らない/切れない。	→ ■ボタンを押し続ける（☞21ページ）。 → 充電池で使っている場合、リモコンで電源を入れることはできない。

再生

症状	原因 / 処置
再生が始まらない。 ディスクを入れても［ディスク無し］または［不明ディスク］が表示される。	→ ディスクの再生面を下にして入れる（☞28ページ）。 → 本機で再生可能なディスク/フォーマット以外のファイルを再生しようとした（☞14ページ）。 → ディスクに何も記録されていない。 → リージョンコードが「2」または「All」以外のDVDは再生できない（☞14ページ）。 → 正しくファイナライズされていないDVDは再生できない（☞14ページ）。 → ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合がある（☞14ページ）。 → ディスクが汚れている。ディスクをクリーニングする（☞19ページ）。 → ディスクに大きなキズがある。 → ACパワーアダプターをコンセントにしっかり差し込む（☞25ページ）。 → 結露（本機を寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などに内部に水滴が付着）している。ディスクを取り出して、そのまま数時間置く（☞11ページ）。
ボタンを押すと W.ランプが点滅し、再生が始まらない。	→ HOLD（誤操作防止状態）になっている。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドさせ、HOLDを解除する（☞30ページ）。

ディスクの途中から再生が始まる。	➔ つづき再生機能が働いている。ディスクの最初から再生するには、停止中に■ボタンを押す（☞29ページ）。
再生が止まった。	➔ 充電池が消耗している。充電する（☞24ページ）。 ➔ オートポーズ信号が記録されているディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。 ➔ ACパワーアダプターを接続して再生中、ACパワーアダプターのプラグを抜いたり、本機をスピーカークレードルからはずすと、再生が停止し、電源が切れる（☞25、29ページ）。
停止やサーチなどの操作ができない。	➔ 操作を禁止しているディスクを再生している。
音声言語を変更できない。	➔ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。 ➔ 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。
字幕言語を変更できない。	➔ 再生しているDVDに複数の字幕言語が記録されていない。 ➔ 字幕言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。
字幕を消せない。	➔ 字幕を消すことを禁止しているDVDを再生している。
アングルを変更して見ることができない。	➔ 複数のアングルが記録された場面で変更する（☞40ページ）。 ➔ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。 ➔ アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

映像/静止画

症状	原因/処置
映像が出ない。	➔ LINE SELECTスイッチが「IN」になっている（☞28ページ）。
映像が乱れる。	➔ ディスクに汚れやキズがある。 ➔ 振動の多い場所で使っている。
画像の横縦比がおかしい。	➔ LCD MODE/BRTボタンを押して横縦比を選ぶ（☞43ページ）。
[TVタイプ]で設定した画像の形で再生できない。	➔ レターボックスかパンスキャンのどちらか一方に固定されているディスクを再生している。
JPEGファイルが表示されない、または正しく表示されない。	➔ 拡張子に「.jpg」が付いていない（☞16ページ）。 ➔ ファイルがJPEG形式ではない。
JPEGファイルの再生が始まるまで、時間がかかる。	➔ 多くの階層や複雑な構成で記録したディスクを入れている。 ➔ セッションの追加が可能なディスクを入れている。
モニター画面の同じ場所に、青い点や赤い点などが現れる。	➔ このような現象を輝点といいます。液晶パネルの性質上発生するものです。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。

次のページにつづく

音声

症状	原因 / 処置
ヘッドホンから音が出ない。	→ ヘッドホンのプラグをしっかり差し込む。 → ヘッドホンのプラグの先が汚れている。乾いた柔らかい布で拭く。
音量を調節できない。	→ [AVLS]が[オン]になっている。[オフ]にする (☞50ページ)。
MP3ファイルが再生できない。	→ ISO9660レベル1、レベル2、Jolietに準拠して記録されていない。 → 拡張子に「.mp3」が付いていない (☞16ページ)。 → ファイルがMP3形式ではない。
MP3ファイルの再生が始まるまで、時間がかかる。	→ 多くの階層や複雑な構成で記録したディスクを入れている。 → セッションの追加が可能なディスクを入れている。
音がとぶ。	→ ディスクに汚れやキズがある。 → 振動の多い場所で使っている。
クレードルのスピーカーから音が出ない。	→ 本機のPHONESジャックにヘッドホンがつながっている。

操作

症状	原因 / 処置
リモコンが効かない。	→ リモコンと本体の間にある障害物を取り除く。 → リモコン受光部に近づけて操作する。 → リモコンの電池が消耗していたら、電池を交換する (☞23ページ)。
ディスク入れのふたを閉めるとディスクが回転する。	→ ディスクの情報を読んでいるためで、故障ではありません。
操作できない。 ディスクが回転したまま止まらない。	→ つまようじなど、先の尖った物を使い、RESETボタンを押す (☞21ページ)。

接続

症状	原因 / 処置
接続したテレビに映像が出ない。	→ LINE SELECTスイッチが「IN」になっている。 → カラー方式の設定がテレビに合っていない。[カラー方式]を設定しなおす（☞46ページ）。 → テレビの入力切り換えを確認する。
接続した機器の映像が本機の液晶画面に出ない。	→ LINE SELECTスイッチが「OUT」になっている。
接続した機器の映像が正しく表示されない。	→ ENTボタンを押して、本機のカラー方式を映像に合わせてください（☞53ページ）。
接続したオーディオ機器のスピーカーから音が出ない、音が歪む。	→ 接続した機器に合わせて、[ダウンミックス]や[デジタル出力設定]を行う（☞47ページ）。

エラー表示

表示	原因 / 処置
HI DC IN	→ 定格を超えたACパワーアダプターを使用している。すぐにACパワーアダプターを本機から抜く。ACパワーアダプターは付属のものを使う（☞60ページ）。
LOW BATTERY	→ 充電池が消耗している。充電する（☞24ページ）。
地域が間違っています	→ DVDの地域番号が本機に対応していない。リージョンコードが「2」または「All」以外のDVDは再生できない（☞14ページ）。
⃠	→ ディスクが禁止している操作を行った。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ポータブルDVD/CDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本機を廃棄するときのご注意

環境保護のため、内蔵のリチウムイオン電池を取り出してください。

> **警告**
>
> 本機を廃棄するとき以外は、絶対にネジをはずさないでください。

注意

内蔵のリチウムイオン電池は、完全に消耗した状態を確認してから取り出してください。
内部の金属部分（取り付け板など）の取り扱いには充分ご注意ください。

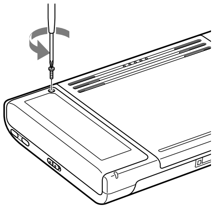
充電池の廃棄について

Li-ion

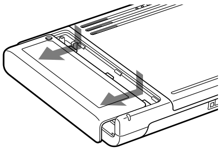
リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。
充電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCのホームページを参照してください。
URL：http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

充電式電池の取りはずしかた

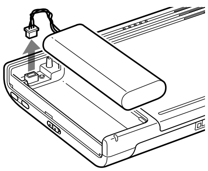
1 ⊕ドライバーを使って、ネジをはずす。



2 電池カバーをはずす。



3 コネクターを引き抜き、充電式電池を取り出す。



主な仕様

型式

ポータブルDVD/CDプレーヤー

液晶画面

- 型/画面サイズ（横×縦、対角）
  7V型ワイド/15.4×8.7、17.7cm
- 表示素子
  高解像度カラー LCD
- 駆動方式
  TFTアクティブマトリクス方式
- 画面構成
  画素数：112,320画素
  ドット数：480（水平）×3（RGB）×234（垂直）ドット

信号方式

JEITA標準、NTSC/PALカラー方式

周波数特性

20Hz ～ 20kHz（+1/－2dB）*

ワウ・フラッター

測定限界（±0.001% W PEAK）以下*

入出力端子

- VIDEO（映像入出力）
  ミニジャック（1個）
  出力1.0Vp-p（75 Ω）
- AUDIO（音声入出力）/OPTICAL OUT（光デジタル出力）
  ステレオミニジャック/光ミニジャック兼用（1個）
  出力 0.7Vrms（47k Ω）
  推奨負荷インピーダンス 10k Ω以上
- PHONES（ヘッドホン出力）A/B
  ステレオミニジャック（2個）
  最大出力 20mW+20mW（JEITA）
  推奨負荷インピーダンス 16 Ω
- スピーカークレードル接続端子

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

電源

- 充電式電池（内蔵）
  リチウムイオン
- 外部電源ジャック：定格DC 12V
  ACパワーアダプター（付属）を接続してAC 100V ～ 240V電源から使用可能

消費電力

7W

その他

次のページにつづく

動作温度
5℃〜35℃

本体寸法（幅×高さ×奥行き）
約193.4×136×27.9 mm
突起部含まず

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA*）
約193.7×136.3×32.7 mm

質量
本体：約775 g（JEITA*）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

スピーカークレードル

スピーカー
最大出力 450 mW + 450 mW（JEITA）

電源
外部電源ジャック：定格DC 12V
ACパワーアダプター（付属）を接続してAC 100V〜240V電源から使用可能

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）
約286×101×92mm（JEITA*）

質量
約270 g（JEITA*）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製造年は本体のふたの内側に表示されています。

CEマークは、それが法的に強制されている国－主としてEEA（欧州経済地域）に加盟している国－でのみ有効です。

本機はFraunhofer IIS 及び ThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

別売りアクセサリー

アクティブスピーカー	SRS-Z510
ヘッドホン	MDR-DS6000 MDR-XD200
音声接続コード	RK-G129 RK-G136
映像接続コード	VMC-30
プラグアダプター	PC-221HM PC-221M

言語コード一覧表

詳しくは45ページをご覧ください。

言語名表記はISO639: 1988（E/F）に準拠

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
6565	Afar	7165	Irish	7773	Maori	8381	Albanian
6566	Abkhazian	7168	Scots/Gaelic	7775	Macedonian	8382	Serbian
6570	Afrikaans	7176	Gallcian	7776	Malayalam	8385	Sundanese
6577	Amharic	7178	Guarani	7778	Mongolian	8386	Swedish
6582	Arabic	7185	Gujarati	7779	Moldavian	8387	Swahili
6583	Assamese	7265	Hausa	7782	Marathi	8465	Tamil
6588	Aymara	7273	Hindi	7783	Malay	8469	Tegule
6590	Azerbaijani	7282	Croatian	7784	Maltese	8471	Tajik
6665	Bashkir	7285	Hungarian	7789	Burmese	8472	Thai
6669	Byelorussian	7289	Armenian	7865	Nauru	8473	Tigrinya
6671	Bulgarian	7365	Interlingua	7869	Nepali	8475	Turkmen
6672	Bislama	7378	Indonesian	7876	Dutch	8476	Tagalog
6678	Bengali	7383	Icelandic	7879	Norwegian	8479	Tonga
6679	Tibetan	7384	Italian	7982	Oriya	8482	Turkish
6682	Breton	7387	Hebrew	8065	Punjabi	8484	Tatar
6765	Catalan	7465	Japanese	8076	Polish	8487	Twi
6779	Corsican	7473	Yiddish	8083	Pushto/ Pashto	8575	Ukrainian
6783	Czech	7487	Javanese			8582	Urdu
6789	Welsh	7565	Georgian	8084	Portuguese	8590	Uzbek
6865	Danish	7575	Kazakh	8185	Quechua	8673	Vietnamese
6869	German	7576	Greenlandic	8277	Raeto- Romance	8679	Volapük
6890	Bhutani	7577	Cambodian			8779	Wolof
6976	Greek	7578	Kannada	8279	Romanian	8872	Xhosa
6978	English	7579	Korean	8285	Russian	8979	Yoruba
6979	Esperanto	7583	Kashmiri	8365	Kinyarwanda	9072	Chinese
6983	Spanish	7585	Kurdish	8368	Sanskrit	9085	Zulu
6984	Estonian	7589	Kirghiz	8372	Serbo- Croatian		
6985	Basque	7665	Latin				
7065	Persian	7678	Lingala	8373	Sinhalese		
7073	Finnish	7679	Laotian	8375	Slovak		
7074	Fijian	7684	Lithuanian	8376	Slovenian		
7079	Faroese	7686	Latvian Lettish	8377	Samoan		
7082	French			8378	Shona		
7089	Frisian	7771	Malagasy	8379	Somali		

索引

アルファベット順

その他

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*……………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX……………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1 ：修理受付
2 ：使用方法や故障と思われるご相談
3 ：お買物相談
4 ：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5 ：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

eco info
この説明書は100%古紙再生紙と
VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植
物油型インキを使用しています。

Sony Corporation　Printed in China